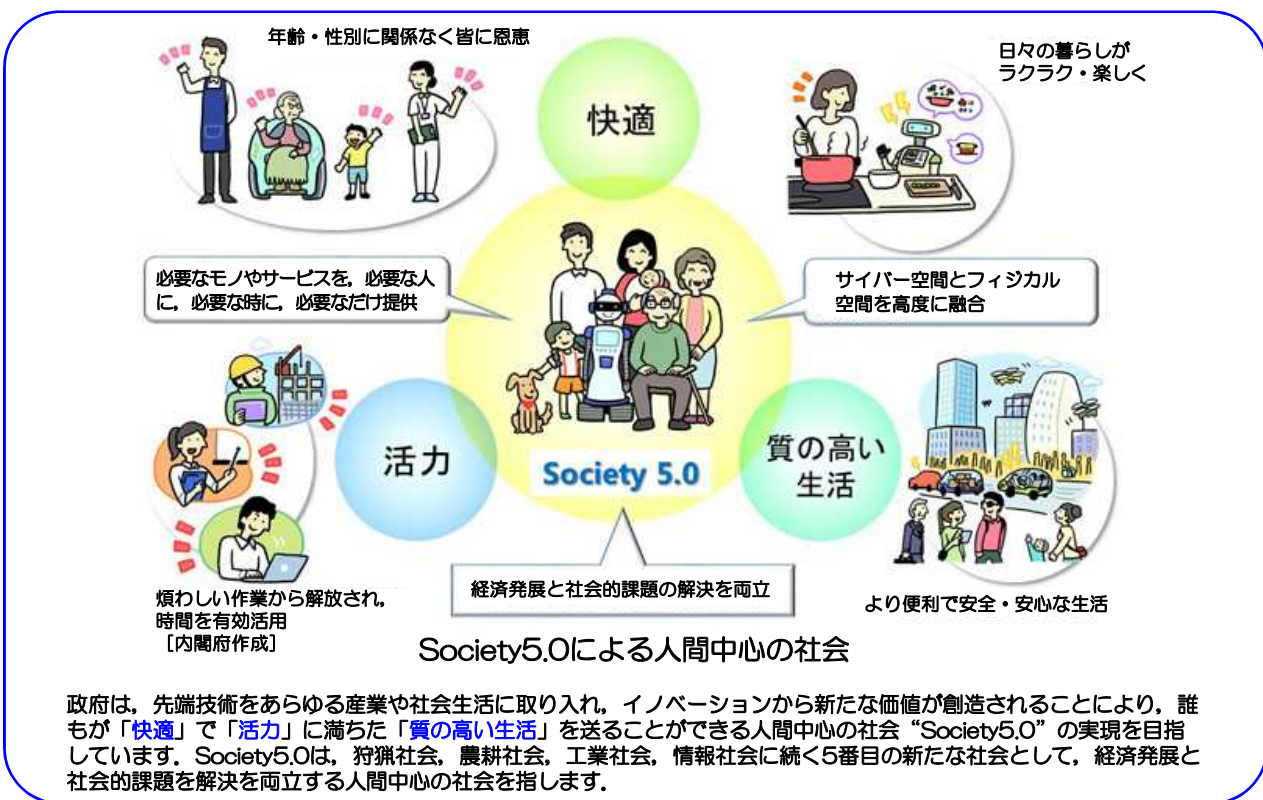


## 大学講座「超スマート社会への対応」のご案内

“超スマート社会”，最近よく聞く言葉かと思えます。“超スマート社会”とは、「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かくに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き生きと快適に暮らすことができる社会」であり、人々に豊かさをもたらすことが期待されています。

政府は、2016年1月に「第5期科学技術基本計画」を閣議決定し、この“超スマート社会”を未来の姿と位置付け、その実現に向けた一連の取り組みを“Society5.0”として推進し、ネットワークやIoT（Internet of Things）の利活用を、ものづくりだけでなく、様々な分野に広げようとしています。さらに、2017年12月には「経済政策パッケージ」を閣議決定し、人づくり革命の柱の一つとしてリカレント教育（学び直し）を掲げ、誰がいくつになっても学び（あるいは学び直し）、新しい活躍の機会に挑戦できるような環境整備を推進しています。

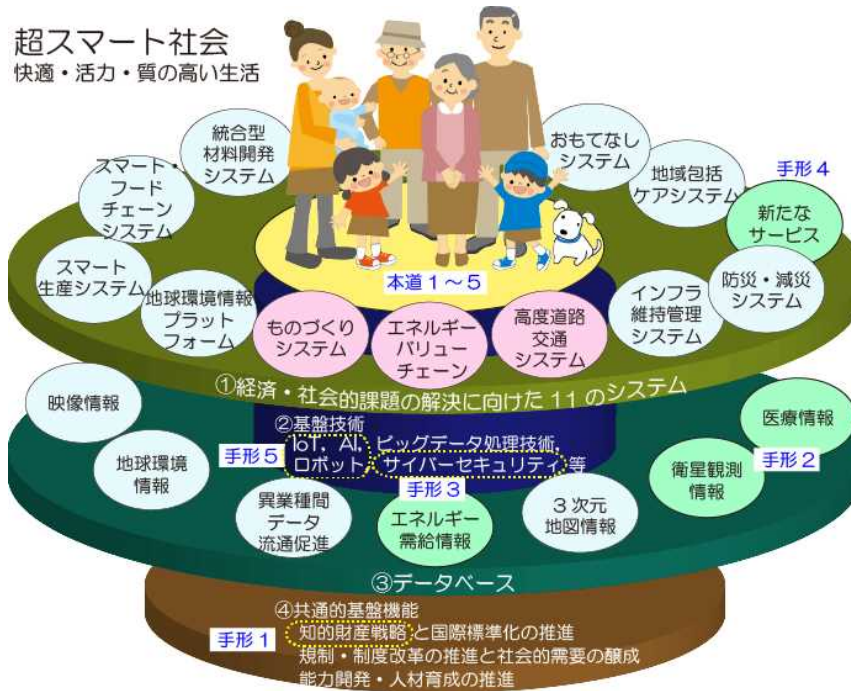
一方、秋田県の人口は、2045年に約60万人になることが予想されており、目前の超高齢社会に対し、経済成長や労働力の低下、社会保障問題などへの対応が喫緊の課題になっています。そこで、秋田大学では、新たな社会である“超スマート社会”への対応を、秋田県民の皆さんと一緒に考えていくため、「超スマート社会への対応」と題した大学講座を開催します。本講座は、主に社会人の方を対象にした“人材育成”のための講座であり、各領域の最新トピックを、大学で学ぶ（あるいは学び直す）ための場所として実施するものです。本講座を通じて、産（産業界）・学（学術機関）・官（官公庁）・医（医療業界）・金（金融）などの様々な連携体制が構築され、秋田県に快適で活力に満ちた質の高い生活が送れる“超スマート社会”を構築できればと考えております。なお、社会人以外の方の聴講も歓迎します。多くの方の参加をお待ちしております。



図：内閣府のホームページより引用 [http://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](http://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

<講座について>

“超スマート社会”の実現には、様々な「もの」がネットワークを介してつながり、それらが高度にシステム化されるとともに、複数の異なるシステムを連携強調させることが必要です。しかし、これを一気に構築することは難しく、政府は「Society5.0の実現」に向けたプラットフォームとして、「①経済・社会的課題の解決に向けた11のシステム」を設定し、IoTやAI（Artificial Intelligence）、ビッグデータ処理技術などの「②基盤技術」、各システムの高度化やデータの利活用を促進するための「③データベース」、④「知的財産戦略、人材育成の推進など」の体制を構築しようとしています。



「Society5.0の実現」に向けた各講座の位置づけ  
 参考：内閣府Society5.0の実現を支えるプラットフォーム

平成30年度は、このプラットフォームの中で、「A. 超スマート社会構築に向けたイノベーション（手形コース）」と「B. 超スマート社会を見据えた医学・保健学（本道コース）」の2つのコースを設定して講座を実施します。

A. 超スマート社会構築に向けたイノベーション（手形コース）

本コースでは、新しい価値を生み出す技術開発のための知的財産戦略、AIやIoTなどの基盤技術、医療、エネルギー、衛星観測情報などのデータベースの他、人材育成や新たなサービスである FinTech などの動向について概説します。

- 手形 1
  - ・ Society5.0 概説
  - ・ 知的財産戦略
- 手形 2
  - ・ 衛星観測情報
  - ・ 医療情報
- 手形 3
  - ・ エネルギー需給情報
  - ・ サイバーセキュリティ
- 手形 4
  - ・ 金融サービス
  - ・ 人材育成
- 手形 5
  - ・ AIとIoT
  - ・ ソフトウェア
  - ・ ロボティクス

B. 超スマート社会を見据えた医学・保健学（本道コース）

本コースでは、基礎科学研究を展開して医療技術の開発を推進し、その成果を活用して健康長寿社会を構築していくために必要な医学・保健学の最新動向を概説します。

- 本道 1
  - ・ 脳神経領域
  - ・ 心臓・循環領域 (内科・外科)
- 本道 2
  - ・ 消化器領域
  - ・ がん診断治療
- 本道 3
  - ・ 呼吸器領域 (内科・外科)
  - ・ 小児科領域
- 本道 4
  - ・ 検査診断学
  - ・ 薬剤部
- 本道 5
  - ・ 緩和ケア
  - ・ 作業療法学